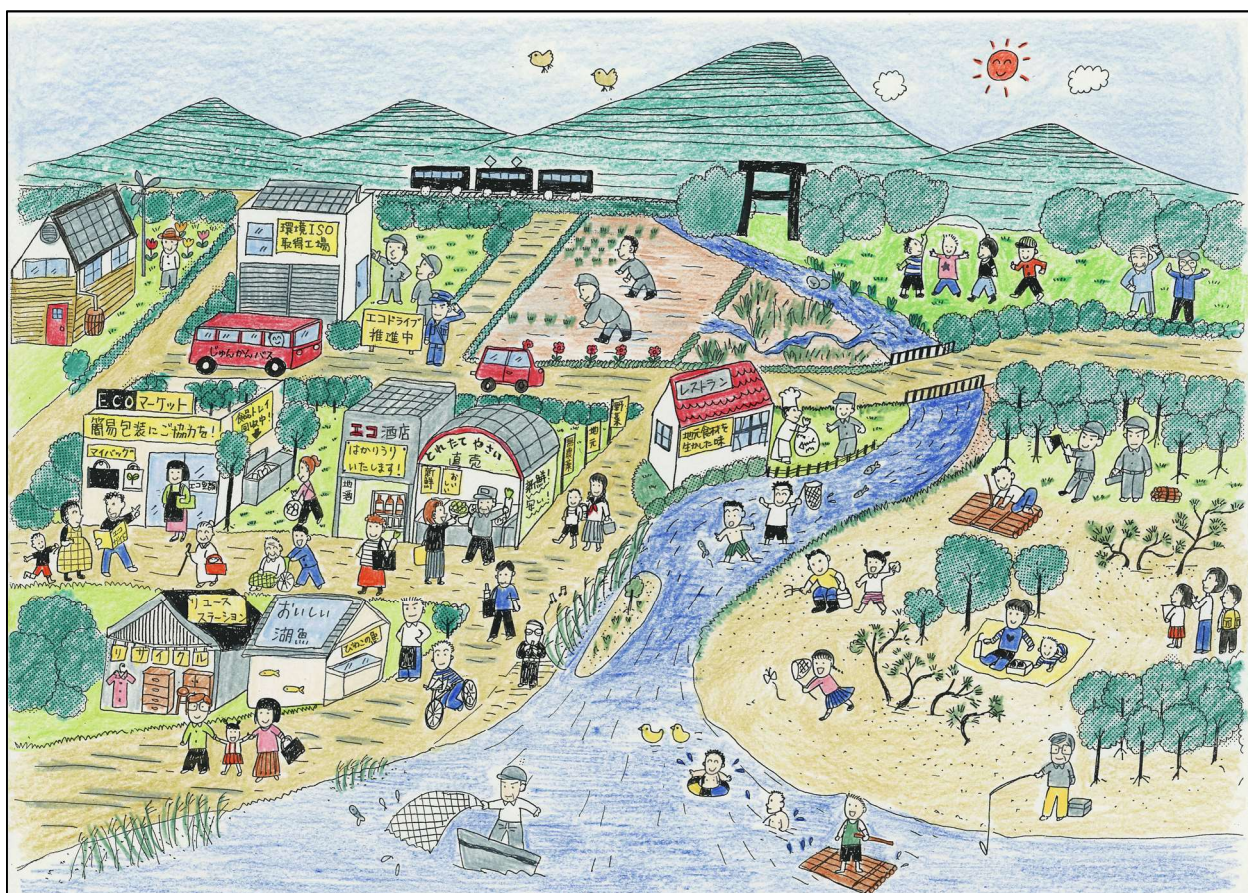


# 環境基本計画推進会議

## 「水と緑・安心の野洲」



### 令和 4 年度 通常総会 議案書



新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面議決

# 環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」 令和4年度 通常総会 （書面議決）

## 議 事

- 第1号議案 令和 3 年度事業報告について
- 第2号議案 令和 3 年度収支決算報告について
- 第3号議案 令和 4 年度事業計画（案）について
- 第4号議案 令和 4 年度予算（案）について

### 会員のみなさま

議案書をご覧いただき、同封した書面議決書に賛否のご意思、ご意見等をご記入  
いただき、返信用封筒での郵送、またはFAX等でご返信ください。  
(締め切り：5/19 必着でお願いします)

# 第1号議案

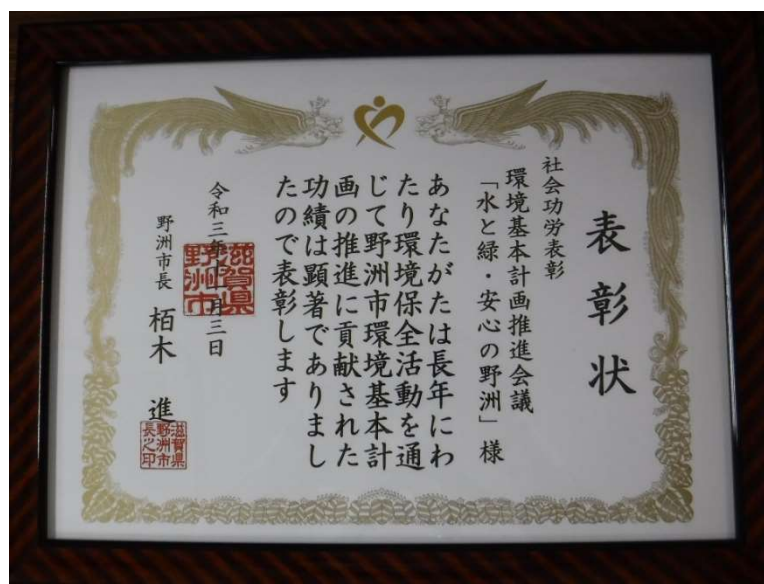
## 令和3年度 事業報告

### <活動実績（総括）>

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況が続き、各プロジェクトの活動やイベント事業などが中止となりましたが、規模縮小など感染対策を講じながら、それぞれのプロジェクトで環境保全活動に取り組みました。

野洲市は令和3年度に第2次野洲市環境基本計画の見直しをしました。地球温暖化対策、食品ロス対策、プラスチック対策、特定外来生物対策を重点に見直され、またSDGsと取組を関連づけることで、環境保全活動が世界共通の課題解決のための活動につながっていることを示されました。この計画は、令和4年度から実践していくことになり、これまで以上に参画者の拡大や市民の認知度向上に努めていく必要があります。

なお、令和3年11月3日に「えこっち・やす」の長年にわたる環境保全活動の功績が認められ、野洲市より社会功労表彰を受賞しました。



### 運営委員会の開催

- 第 1 回（令和3年 5月） 総会書面議決の結果、環境基本計画中間見直しについて
- 第 2 回（令和3年 6月） 環境基本計画中間見直しについて
- 第 3 回（令和3年 8月） 環境基本計画中間見直しについて
- 第 4 回（令和3年 10月） 令和4年度予算、環境基本計画中間見直しについて
- 第 5 回（令和3年 12月） 令和4年度予算、活動のPR方法や会員数の拡大について
- 第 6 回（令和4年 2月） 総会開催方法、令和3年度事業実績について

各プロジェクトの活動の実績、事業報告は以下のとおりです。  
 <活動実績（各プロジェクト）>

## 令和3年度 プロジェクト活動の実績

自然に関すること

※人数は延数で概算含む

	概 要	回数	人数	プロジェクト名	
緑	河辺林保全活動	32	553	まちなかの緑づくり プロジェクト	
	カブトムシ幼虫観察会	3	229		
	タケノコ掘りイベント	1	75		
	秋の自然の森ふれあいイベント	1	45		
	体験学習会	コロナによる中止			
	河辺林の自然環境調査	コロナによる中止			
	樹木の管理と剪定講習会	1	24		
	小計	38	926		
川	家棟川エコ遊覧※砂浜学習会含む	コロナによる中止		みんなが親しむきれいな 川づくりプロジェクト	
	ピワマスフォーラム	コロナによる中止			
	家棟川・琵琶湖清掃活動	22	289		
	家棟川流域生態調査	1	30		
	小計	23	319		
里山	里山保全活動	49	543	里山を守り育てる プロジェクト	
	子どもや市民が里山に親しむ活動	9	207		
	森づくり塾	2	58		
	野洲の山を知る探索	2	30		
	小計	62	838		
びわ湖	琵琶湖に親しむイベント（あやめ浜まつり）	コロナによる中止		びわ湖を守ろう プロジェクト	
	漁民の森づくり事業	1	132		
	びわ湖学習会・ヨシ苗ポット作り体験	3	300		
	ヨシ群落再生（ヨシ植え）	2	243		
	小計	6	675		
自然に関すること		小計	129	2758	

ごみ・資源に関すること

	概 要	回数	人数	プロジェクト名	
環境学習	出前講座（リサイクルペーパーアート）	コロナによる中止		ごみの資源化 プロジェクト	
	出前講座（エコキャンドルづくり）	コロナによる中止			
リユース	リユース物品無償譲渡（常設）	1	100		
	リユース常設展示	通年			
ごみ・資源に関すること		小計	1	100	

まち・くらしに関すること

	概 要	回数	人数	プロジェクト名	
ごみ減量	出前講座（食品ロス削減啓発劇・雑がみ分別啓発）	5	300	ごみ減量 プロジェクト	
	マイバッグ持参・食品ロス削減啓発キャンペーン	4	400		
	リユース等に関する研修	コロナによる中止			
エコドライブ	エコドライブ講習会	コロナによる中止		地球温暖化対策推進 プロジェクト	
緑のカーテン	公共施設緑のカーテン大作戦	1	—		
まち・くらしに関すること		小計	10	700	

合 計		142	3,558	
-----	--	-----	-------	--

平成 19 年度	32 回	1,445 人	平成 24 年度	124 回	4,890 人	平成 29 年度	159 回	4,461 人
平成 20 年度	66 回	1,901 人	平成 25 年度	149 回	5,614 人	平成 30 年度	175 回	5,336 人
平成 21 年度	111 回	3,888 人	平成 26 年度	206 回	5,786 人	令和元年度	161 回	4,904 人
平成 22 年度	95 回	3,692 人	平成 27 年度	188 回	6,241 人	令和2年度	149 回	3,263 人
平成 23 年度	124 回	4,015 人	平成 28 年度	193 回	4,287 人			

## まちなかの緑づくりプロジェクト

実施主体：緑の推進委員会  
やす緑のひろば

### ① 河辺林の保全活動（32回実施 延べ553名）

野洲川河辺林（野洲川北流跡自然の森）において、毎月第1火曜日、第3土曜日及び第4木曜日計3回の定例活動を中心に以下実施しました。

一定のエリアで侵入竹を計画的に伐採、チップ化。新たに伸びた若竹も複数年掛けて継続的に伐採しました。どんぐり広場、実生広場を中心に実生の若木の枝打ちや下草刈り、そして散策路の周辺の藪の整備、及び隣接のミニ三上山、ミニミニ三上山周辺の草刈り整備も実施しました。

また、従来からの山部会やオムロン野洲事業所との竹林整備、希少種マイコアカネ生息地整備に加えてJAレーク滋賀とも協働でゴミ回収を開始しました。12月の作業では、マットレスなどの大型ごみを含め、市道側帯を中心に約100kgを回収しました。



### ② 河辺林での自然体験学習イベント

主な内容は以下のとおりです。

#### ➤ カブトムシ幼虫観察会、森探索会

（5/14、6/15、6/25 参加者229名）

北野小学校2年生はカブトムシの幼虫観察会、及び森探索会、4年生は子供たちが自然の森を守るため自分たちで出来ること考えるための講演会、及び森探索を行いました。

#### ➤ タケノコ採りイベント

（6/12 参加者50名 スタッフ25名）

子供とその保護者の皆さんが、自然の森を巡りながらタケノコ採り、また焼きタケノコを試食し、自然の中で楽しんでいただくことができました。

#### ➤ 自然の森ふれあいイベント

（11/13 参加者25名 スタッフ20名）

子どもと保護者の皆さんが、森の探索やネイチャーゲーム、竹細工そして竹飯や焼き芋も味わい、楽しみながら自然にふれあいました。

#### ➤ 光と竹のカーニバル

（10/29、30 参加者1800名）

野洲青年会議所と協働で、竹で編んだ籠灯り、透かし彫りの竹灯り、灯に映える竹トンネル竹垣等、森の中で灯りを楽しむ光と竹のカーニバルを実施しました。自然の森を知ってもらう良い機会になりました。



### ③ 河辺林の自然環境調査（コロナ禍により中止）

#### ④ 公共施設などの緑化

- 野洲市図書館、北野小学校、コミセンきたの等、それぞれの地域の団体と協働で樹木の剪定など、整備を行っています。
- 樹木苗の定植（3月）  
緑募金事業から苗木配布の支援いただき北野小学校、野洲図書館、大篠原の貯木場などにサツキ、ヤマモミジ、ヤマザクラを合計 24 本、小学校応援団、レイカ野洲、山部会と協働にて実施しました。

#### ⑤ 緑化のための研修・啓蒙

樹木の管理と剪定講習会（3/14 参加者 24 名）  
公園や公共施設などの樹木を市民の皆さんと協働で整備できるように、一般市民対象の講習会を開催しました。樹木医の先生より樹木の特性を理解した管理方法を学び、実習を兼ねてコミセンきたの敷地内の樹木の剪定整備を行いました。



#### ⑤ 市内緑化のための施策検討（ほぼ月 1 回、全 10 回）

市の緑化政策を勉強し、推進に有効な施策を市と協働で検討、開発案件での緑化率の改善施策などにつなげました。

## ごみの資源化プロジェクト

実施主体：エコ資源部会

#### ① 環境学習会（コロナ禍のため中止）

昨年度に続き、コロナ禍のためリサイクルペーパーアート、エコキャンドルづくりの出前講座は中止となりました。

#### ② 廃食油の回収（毎月第4土曜日 10時から12時 全12回）

野洲市役所市役所構内にて、廃食油の回収を実施しました。広報やす等の周知によって廃食油を持ってこられる市民が増えた他、情報交換の場にもなりました。今後、回収BOXをより多くの方に利用していただくため、のぼり旗の設置を行います。

また、野洲市内公共施設 13 箇所に回収ボックスを設置しており、回収した廃食油は全てリサイクルに努めました。

##### ➤ 回収の実績

実践主体	令和3年度実績	令和2年度実績
エコ資源部会	994 リットル (持ち込み人数 94 人)	919 リットル (持ち込み人数 97 人)
野洲市回収ボックス (市内 13 箇所)	3,495 リットル	3,608 リットル
合計	4,489 リットル	4,527 リットル

#### ③ 見学研修（コロナ禍のため中止）

水ロテクノス及びあいとうエコプラザ菜の花館に、ごみを減らそうプロジェクトと協働で見学研修を予定していましたが、コロナ禍のため中止となりました。

④ 小型家具類の常設展示による無償譲渡（4/1～3/31）

リユースの促進を目的に、廃棄物として出された粗大ごみや不燃物の中から使用できるものを市民に無償で譲渡しました。今年度から野洲クリーンセンターで常設展示をはじめ、多くの市民にご利用いただくことができました。

➤ 常設展示及び譲渡会での譲渡数等

種類	来場者数	譲渡数	総重量
家具類	124名	160点	2,119kg
食器類	97名	643点	162kg



⑤ リユースステーションでの無償譲渡会  
12/5 参加者 100名)

環境フェスタ 2021 にて、リユース無償譲渡会を実施しました。例年、公平性を保つことから抽選方式で実施していましたが、コロナ禍のため先着方式で譲渡会を開催しました。

## ごみ減量プロジェクト

実施主体：ごみを減らそうプロジェクト

① 出前講座等での啓発活動

➤ 雑がみ講座

市内小学生を対象に、身近な雑がみをテーマに「ごみ」と「資源」の分け方や、不法投棄、食品ロスなどについて講座を行いました。

雑がみ講座では、初のオンラインでの実施を行いました。講座後には小学生に啓発ポスターを作成していただき、学校区の自治会に掲示し、市民への啓発を行いました。来年度についてもコロナの感染状況を鑑みて、オンラインか出前での実施を検討していきます。



実施日	会場	人数
10月14日	篠原小学校	27人
12月21日	祇王小学校	77人
1月25日	オンライン(北野)	117人

➤ 食品ロス寸劇出前講座（8/2、11/26 参加者 50名）

食べられるのに廃棄される食品(食品ロス)を削減することを目的に、市内自治会や、ふれあいサロンにて食品ロスの寸劇を実施しました。寸劇をみて、「賞味期限までに食材を利用します。生活の中で工夫をしていきます。」といった声がありました。



## ② 環境に優しい買い物キャンペーンの実施

昨年度に続きコロナ禍のため、県との協働での取り組みは中止となりましたが、市と連携して市内4店舗でプラごみ削減や食品ロス削減を呼びかけました。また、キャンペーンに先立ち、ごみを減らそうプロジェクト独自の啓発ポスターを作成し、市内小売店舗や自治会、コミュニティセンター等に協力を呼びかけ、掲示しました。

実施日	啓発店舗
10月25日	平和堂アルプラザ野洲
10月26日	ザ・ビックエクストラ野洲店
10月27日	丸善野洲店
10月28日	魚忠ママセンター



## ③ ごみ減量等に関する学習会(コロナ禍のため中止)

水口テクノス及びあいとうエコプラザ菜の花館に、エコ資源部会と協働で見学研修を予定していましたが、コロナ禍のため中止となりました。

## ④ 雑がみ啓発ポスターキャンペーン(自治会 41 か所)

雑がみ講座を実施した小学生に、雑がみ啓発ポスターを作成してもらいました。作成したポスターは学校区の自治会館等に掲示し、リサイクルの普及啓発に努めました。



## ⑤ 環境フェスタ 2021 への参加

コロナ禍のため、ポスターを展示し、ごみ減量の啓発に努めました。

## 地球温暖化対策推進プロジェクト

実施主体：えこっち・やす事務局（環境課）

### ① エコドライブの啓発

交通分野での温室効果ガス削減を目的に、省エネ運転を実践するエコドライブの普及を図るため、ホームページにてエコドライブを呼びかけました。

### ② 気候変動対策の啓発と事業所との連携

#### ➤ 緑のカーテン

窓から入る日光を遮り、室内の気温の上昇を抑えることを目的に、庁舎内や子ども園、市内公共施設で緑のカーテンを実施しました。



▶ フードエコ推奨店

食品ロス削減に取り組む飲食店、宿泊施設、食料品小売店舗を「フードエコ推奨店」として登録されており、市内の登録店の取り組み内容等を市ホームページに掲載し、フードエコ推奨店の利用を促しました。今年度は新規4店舗の登録がありました。

第2次野洲市環境基本計画：基本目標3「里山から琵琶湖へつながる自然環境づくり」

みんなが親しむきれいな川づくりプロジェクト

実施主体：NPO法人家棟川流域観光船、  
家棟川・童子川・中ノ池川に  
ビワマスを戻すプロジェクト

① 河川清掃活動(17回実施 参加者 170名)

市民や市民団体などと協働で中ノ池川、祇王井川等積極的な河川清掃を実施するとともに、不法投棄対策の啓発を行いました。

② ビワマスを戻す取り組み

▶産卵床の造成(10/7、12 参加者 48名)

遡上したビワマスが産卵しやすい川床にするため、川底の土砂をかき出す作業や、砂利を追加で投入し産卵床を造成しました。



産卵床造成

▶仮設魚道の設置(10/15 参加者 13名)

中ノ池川にある落差工から上流へビワマスが上るように、仮設魚道を設置しました。

▶遡上調査、密漁対策見回り(10/15~11/30)

産卵のために遡上してくるビワマスの数の確認や禁漁期間に密漁者がいないかの確認のため、毎日調査を行いました。



ビワマス稚魚

▶稚魚調査(令和4年3/3 参加者 15名)

主に産卵床を造成した箇所に稚魚がいるかの調査を行いました。上流に遡上したビワマスが2匹いましたが雌同士であったため、上流で稚魚は確認できませんでしたが、過去最高の稚魚数で歓喜の声が上がっていました。また、中ノ池川バープ工(2か所)の調査を行ったところ、5匹もの稚魚を確認でき、新たな成果となりました。ビワマスの稚魚の他、カマツカ、カワムツ、ウキゴリ、ヨシノボリ等も確認できました。

場所	調査時間	稚魚数
童子川(一本橋下流)	40分	4匹
中ノ池川(穂波橋)	30分	6匹
中ノ池川(東込田川合流地点)	40分	24匹
中ノ池川(県道2号線)	20分	0匹
中ノ池川(バープ工)		5匹
		計 39匹

### ③ 河川の生態調査

- 魚道上流(中ノ池川)の魚類調査(10/12 参加者 10名)  
中ノ池川上流で魚類調査を行いました。調査した結果、10種類以上の魚類が確認できました。

### ④ 家棟川エコ遊覧(コロナ禍のため中止)

## 里山を守り育てるプロジェクト

実施主体：山部会

### ① 里山・林道の保全作業(49回実施 延べ543名)

#### ➤小堤生産森林組合のエリア

城山主郭の草刈りと整備、城山登山道の整備やロープ張替え、登山道入口の路肩整備を中心に行いました。また、生産森林組合の依頼による植林地の間伐作業も行いました。

#### ➤大篠原生産森林組合のエリア

旧林道の道整備、古城山の登山道、桜本池や曲輪の整備、また活動事業「タムシバ山花登山」「森づくり塾」などのための会場整備などを行いました。



登山道の整備

### ② 子どもや市民が里山に親しむ活動(9回実施 延べ207名)

例年実施し定着化している活動で、市民や子どもたちに地元の山の現状や素晴らしさを伝え、里山の自然の大切さ、重要性について理解を深めていただきました。主なイベントは以下のとおり。

- 春のタムシバ山花登山(4/3 参加者36名)
- 里山自然観察会(4/24 鳴谷ハルリンドウ 参加者6名)  
(6/26 鳴谷カキラン 参加者15名)  
(8/28 鳴谷サギソウ 参加者9名)
- 篠原学区子供会里山観察会(5/23 参加者9名)
- 篠原学区老人会健康ウォーク  
小堤の林道ウォーク(5/18 参加者51名)  
小堤の古墳見学(11/17 参加者52名)
- 秋の里山登山/天山から希望丘(11/20 参加者25名)
- 守山・山の会里山ハイク(11/21 参加者4名)



登山イベント

#### <中止になった行事>

- ・篠原小学校全校生徒伊勢道峠越え(5/1)
- ・やす環境フェスタ2021木のクラフト作り(12/5)
- ・市社協の木のクラフト作り
- ・城山初日の出登山(積雪のため)



籠・リース作り

### ③ 森づくり塾の実施(2回実施 58名)

山部会員や市民が山作業の仕方や生き物・山作業・里山の歴史について実習学習し、里山案内人としての技量や知識を得るために実施しました。

- 小堤山裾の古墳と周辺文化財巡り(6/5 参加者35名)
- 里山の材料でつる籠・リースを作ろう(12/5 参加23名)

#### ④ 野洲および近隣の山を知る探索（2回実施 30名）

毎月第4土曜日に、里山の現状や季節ごとに変化する里山の面白さを知る探索を行いました。各種事業の下見として登山コース等の確認を行いました。

- 雪野山/竜王町（5/29 参加者 15名）
- 箕作山・太郎坊山/東近江市（10/28 参加者 15名）

#### ⑤ 他の団体やプロジェクトとの協働活動・交流(3回実施 34名)

山の整備や保全活動のノウハウを生かして、他のプロジェクトの保全活動やイベントに参加し、協働することで相互理解を深めました。

- 緑の推進委員会と協働  
（7/17 参加者 11名）  
（3/19 参加者 10名）
- びわ湖の水と地域の環境を守る会主催：漁民の森の植樹  
（漁業組合・生産森林組合とも協働：3月5日/参加者 13名）

#### クリーンセンター裏山のタゴガエル生息調査（2回 15名）

- （4/28 参加者数 3+3=6人）山部会+職員
- （10/4 参加者数 7+2=9人）

## びわ湖を守ろうプロジェクト

実施主体：びわ湖の水と地域の環境を守る会  
野洲市びわ湖を守る会

#### ① びわ湖環境学習とヨシ苗づくり（3回実施 延べ300名）

公益財団法人淡海環境保全財団と連携し、中主小学校4年生を対象にした環境学習で、びわ湖とヨシについて学習会とヨシ苗作りを行いました。子どもたちに学校の池で苗を育ててもらい、琵琶湖の水質改善と多様な生物の棲み処となることを願って子どもたちが秋に湖岸へ移植しました。



- 1回目：びわ湖環境学習会（7/2 100名）
- 2回目：ヨシ苗ポットづくり（7/2 100名）
- 3回目：ヨシ植栽（12/6 100名）



#### ② ヨシ群落再生事業及びヨシ群落の経過観察

企業のサステナビリティ活動によるヨシ植栽支援の他、各種団体や事業所等と連携しヨシの植栽を行う市民参加型イベントを開催しました。またイベントでは、湖岸の景観を保全するため、松林の保全（下草刈作業）も行いました。

- 滋賀ダイハツ販売(株)による植栽（11/3 43名）
- ヨシ群落再生&松林保全（11/6 218名）

- ③ 砂浜学習会（コロナ禍のため中止）
- ④ あやめ浜まつり（コロナ禍のため中止）

⑤ 漁民の森づくり事業（3/5 参加者 123名）

びわ湖の水源を守るために、漁業関係者と生産森林組合が協力し、関係団体などにも呼びかけ、水源となる山（大篠原地先）に植樹を実施しました。新型コロナウイルスの拡散防止のため、規模を縮小し関係者のみで実施しました。



漁民の森づくり

⑥ 湖岸周辺の清掃活動（年間を通じて延べ5回 参加者 119名）

あやめ浜周辺の湖岸清掃を年間通じて実施しました。多量の散在性ごみや河川から琵琶湖へ流入した漂着ごみを回収しました。野洲市びわ湖を守る会として野洲クリーンセンターへ搬入したごみの総量 650 kgでした。

第2次野洲市環境基本計画：基本目標4「環境学習の推進による市民活動の促進」

**みんなで環境学習プロジェクト**

実施主体：環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」  
（事務局：環境課）

① 学びの場の提供

野洲クリーンセンターを啓発や体験活動の拠点としており、やす環境フェスタ 2021 ではコロナ禍のため体験教室は取りやめ、啓発パネルの展示のみを行いました。



パネル展示

② 出前講座や環境学習

各プロジェクトで、それぞれのテーマに沿った出前講座を用意していましたが、コロナ禍のため中止となりました学校等へ環境学習に取り入れてもらうよう働きかけや調整を行いました。

③ 広報やす・インターネット等による情報発信

広報やすやインターネットによる情報発信を行い、各種環境学習の周知広報を図った。また必要に応じて小学校や自治会へ周知案内を行いました

## 環境活動支援プロジェクト

実施主体：環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」  
(事務局：環境課)

### ① ニュースレターの発行

夏季、冬季の2回にわたり、各プロジェクトの活動概要をニュースレターとして、会員はもちろん、自治会回覧や環境保全協定締結事業所等に送付し周知を図りました。また、39号ではニュースレター内にQRコードを添付し、過去の活動なども見れるよう、工夫しました。

### ② 広報やす・インターネットによる情報発信

インターネットによる情報発信や、各種活動の周知広報を図りました。各プロジェクト活動のイベント案内や、活動紹介を広報やすや、市ホームページ、やすまる広場を通じて周知しました。



月	プロジェクト	広報・HP	内容
令和3年4月	エコ資源部会	広報	家具類常設譲渡(試行期間)の案内
令和3年4月	えこっち・やす	HP	総会結果
令和3年6月	事務局	広報	環境月間について
令和3年7月	川づくりプロジェクト	HP	家棟川ビオトープ夏の自然観察会の案内
令和3年9月	事務局	HP	ニュースレター38号について
令和3年10月	事務局	広報	3R推進月間 食品ロス削減月間
令和3年10月	事務局	HP	グリーン購入+エシカルキャンペーンについて
令和3年10月	エコ資源部会	HP	家具類常設譲渡(本設)の案内
令和3年11月	エコ資源部会	広報・HP	環境フェスタの案内
令和3年12月	川づくりプロジェクト	HP	家棟川ビオトープ冬の自然観察会の案内
令和3年1月	事務局	HP	ニュースレター39号について
令和3年2月	事務局	HP	フードエコ推奨店のお知らせ
毎月	エコ資源部会	広報	廃食油回収の案内

### ③ ロゴマークによる周知

活動時にはえこっち・やすロゴマーク入りスタッフベストを着用し、また周知の際には、ロゴマークを配置して認知度を高めました。

### ④ 各プロジェクト支援、管理等

事務局の取り組みとして、各プロジェクトの支援や把握、調整を行いました。

#### ➤ フードドライブの実施(10/20~29)

未利用食品の有効利用を目的に、市職員対象にフードドライブを試行的に実施しました。集まった未利用食品は全部で29kg。受渡先はフードバンクびわ湖へと渡しました。今回、第1回目になりますので、市長からフードバンクびわ湖さんへ寄贈しました。



## 第2号議案

### 令和 3 年度 収支決算報告

(収入)

単位：円

科目	当初予算額	補正予算額	予算現額	決算額	差引き	備 考
会 費	102,000	0	102,000	63,500	△ 38,500	個人 @500      35 (内、過年度分 3 ) 市民団体 @1,000      11 (内、過年度分 0 ) 自治会 @1,000      15 (内、過年度分 0 ) 企業 @2,000      10 (内、過年度分 0 )
補 助 金	1,715,000	0	1,715,000	1,303,591	△ 411,409	野洲市 (環境基本計画推進事業補助金)
繰 越 金	274,549	0	274,549	274,549	0	前年度繰越金
雑 入	15	0	15	11	△ 4	預金利子
合 計	2,091,564	0	2,091,564	1,641,651	△ 449,913	

(支出)

単位：円

科目	当初予算額	補正予算額	予算現額	決算額	差引き	備 考
事 業 費	1,715,000	0	1,715,000	1,203,406	511,594	まちなかの緑づくりPJ      236,485 円 ごみの資源化PJ      30,914 円 ごみ減量PJ      102,392 円 地球温暖化対策推進PJ      7,667 円 みんなが親しみきれいな川づくりPJ      570,702 円 里山を守り育てるPJ      108,651 円 びわ湖を守ろうPJ      115,800 円 環境活動支援PJ      30,795 円
事 務 費	150,000	0	150,000	100,185	49,815	通信運搬費、消耗品費等
予 備 費	226,564	0	226,564	0	226,564	
合 計	2,091,564	0	2,091,564	1,303,591	787,973	

#### 令和 3 年度 収支決算の結果

収入決算額	1,641,651 円
支出決算額	1,303,591 円
収支差引き額	338,060 円

差引き額の **338,060** 円は、令和 **4** 年度に繰越する。

令和3年度 環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」

会計監査報告

監査結果

令和3年度環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」の収支決算について監査を行った結果、帳簿の記載及び領収書等の関係書類はいずれも適正に処理され、決算金額は正確であったので報告します。

令和4年4月6日

監事 河本正信 

監事 山田セツ子 

## 第3号議案

### 令和4年度 事業計画（案）

#### ＜活動方針＞

令和4年3月に野洲市第2次環境基本計画改訂版が策定され、当該計画で見直した内容を共有し、各プロジェクトとの連携を図りながら取り組みます。

各プロジェクトでは、例年実施している取り組みを継続すると共に、各プロジェクトにおいて協働して環境活動に取り組み、プロジェクト間の交流を図ります。コロナウイルス感染拡大防止対策として、出前講座や会議の際はオンラインを利用する等、コロナ情勢に対応しながら取り組みます。また、各プロジェクトに基づく施策や取り組みをSDGsと関連付け、環境施策を広い視野で効果的に展開し、様々な問題解決を推進します。また、SDGsを広く周知するため、SDGsの目標ロゴを様々な場面で使用します。

事務局では、各プロジェクトの活動を「見える化」「見せる化」し、従来の発信方法に加えてSNS等をうまく活用し、これまで以上に広く発信して更なる展開と活動の拡大を目指します。また、各プロジェクトの支援や把握、調整を行います。



SDGs ロゴと 17 の目標アイコン



## まちなかの緑づくりプロジェクト



実施主体：緑の推進委員会  
やす緑のひろば

### ① 河辺林の保全活動 継続

野洲川河辺林（野洲川北流跡自然の森）において、毎月第1火曜日、第3土曜日および第4木曜日に定例活動を実施します。一定のエリアで侵入竹を計画的に伐採して樹木の森として次世代に残すこと目指します。また、森の中の散策路や出入り口も整備して地域の人々の憩いの森目指します。実生ひろば・どんぐり広場を中心として、実生育成の草刈り、枝落としなどの整備を行います。また隣接の野洲川河川管理エリアのミニ三上山、ミニミニ三上山周辺の整備も行い、自然の森の魅力を向上させます。

### ② 河辺林での自然体験学習イベント 継続

- カブトムシ幼虫観察会  
北野小学校2年生を対象に、野洲川北流跡自然の森にて、カブトムシの幼虫観察会を実施します。森の中を探索しての自然体験活動も行います。
- タケノコ掘りイベント  
小学生以下とその保護者を対象に、森をめぐり、タケノコを採り、そして焼きタケノコとして試食を行い、身近な河辺林の自然の恵みを体感します。
- 秋の自然観察会  
子どもと保護者を対象にした森の中を巡る自然観察会を開催します。森の巡回や竹細工づくり等の体験後に竹飯を味わい、楽しみながら自然観察を行います。

### ③ 公共施設の緑化 継続

公共施設の敷地内の樹木の養生を可能な限り地域団体と協働で行います。

### ④ 緑化のための研修・啓蒙 継続

- 樹木の管理と剪定講習会  
一般参加者等を対象に、樹木医を講師として、樹木管理の基礎と剪定講習会を実施します。

### ⑤ 市内緑化推進のための施策検討 継続

市の緑化政策を勉強し、推進に有効な施策を市と協働で検討します。

## ごみの資源化プロジェクト

実施主体：エコ資源部会



### ① 環境学習会 **新規**

地球温暖化防止につながる市民向け連続講座を企画します。知恵や工夫を出し合い地域や家庭などで取り組める内容を広報していきます。

### ② 廃食油の回収 **継続**

毎月第4土曜日に市役所敷地内で回収します。引き続き回収した廃植物油は、NPO法人碧いびわ湖の協力を得てリサイクルにつなげます。また、市では拠点回収を行っています。

### ③ 体験型出前講座 **継続**

古紙を繊維にもどした材料から、紙漉きの要領でリサイクルペーパーアートの作品作りをします。この機会を通して雑紙回収拡大につなげます。回収した廃食油を材料にエコキャンドル作りをします。廃食油のリサイクルについて情報提供をします。

### ④ リユースステーションでの無償譲渡 **継続**

会場は野洲市クリーンセンターです。家庭で不要になり廃棄物として届いた物を再利用していただくための活動で、平日のみ開場しています。

### ⑤ 訪問研修 **継続**

リユースやリサイクルの取り組み事例を見学などで見聞し、活動に活かします。

## ごみ減量プロジェクト



実施主体：ごみを減らそうプロジェクト

### ① 出前講座等での啓発活動 **継続**

- ・ 雑がみ、ごみ減量出前講座・食品ロス削減寸劇・環境啓発人形劇
- ・ ごみ減量啓発紙芝居・ごみ分別クイズ・エコダンス

野洲市を背景にしたオリジナルストーリーの寸劇や紙芝居、人形劇の他、ごみ分別クイズやエコダンスを用いて楽しくごみ問題を考える機会を提供する他、パワーポイントを使用した講座等を、小学校での環境学習やふれあいサロン等で実施します。

### ② 環境に優しい買い物キャンペーン **継続**

滋賀県や市と連携し、スーパー店頭で清潔なマイバッグ持参や食品ロス削減の他に、マイボトルを携帯しプラスチックごみの削減の呼びかけを行います。またキャンペーンに先立ち、市内小売業者と各自治会・コミュニティセンター等に啓発ポスターの掲示を依頼し広く市民に啓発を行います。

### ③ ごみ減量等に関する学習会 **継続**

ごみを減らすために先進的な取り組みをされている自治体や事業所などへの視察研修や、学習会を実施します。

### ④ 雑がみ啓発ポスターキャンペーン **継続**

出前講座を実施する市内小学4年生を対象に、雑がみ回収や資源化をテーマとしたポスター作成を依頼し、啓発ポスターとして地域自治会へ掲示の協力を呼びかけます。

### ⑤ 生ごみ廃棄の減量対策 **継続**

密閉容器（コンポスト）の購入に対し補助金を交付する市と協働し、生ごみ廃棄の減量対策を啓発します。

### ⑥ 環境フェスタ2022への参加 **新規**

ごみ減量プロジェクト独自の啓発や展示ブースとして参加し、市民へごみ減量への取り組みを啓発します。また、フェスタに併せてフードドライブを実施し、未利用食品の有効利用に努めます。

## 地球温暖化対策推進プロジェクト



実施主体：えこっち・やす事務局（環境課）

### ① エコドライブの啓発 **継続**

交通分野での温室効果ガス削減を目的に、省エネ運転を実践するエコドライブの普及啓発を実施します。

### ② 気候変動対策の啓発を事業所との連携 **継続**

家庭で取り組める気候変動対策を周知し、市民の気候変動への危機意識を高めます。事業所の取り組み事例等を研修する機会を設けます。

### ③ 緑のカーテン **継続**

省エネ対策として、室内温度の上昇を抑制する緑のカーテンを、庁舎内や公共施設で実施します。

第2次野洲市環境基本計画：基本目標3「里山から琵琶湖へつながる自然環境づくり」

## みんなが親しむきれいな川づくりプロジェクト



実施主体：NPO法人家棟川流域観光船  
中ノ池川清掃隊  
家棟川・童子川・中ノ池川に  
ビワマスを戻すプロジェクト

### ① 河川清掃活動 **継続**

市民団体や地域住民、企業などと連携し、家棟川を中心に、祇王井川、新川、童子川、中ノ池川で定期的な不法投棄ごみの回収を実施します。

### ② ビワマスを戻す取り組み **継続**

「家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト」により、家棟川を遡上するビワマスの生息環境を保全・再生するため、市民、市民団体、企業、行政との協働で産卵床の造成や魚道設置作業を行います。市民が河川に親しみをもち環境保全意識の高揚へつながる啓発をします。

また、琵琶湖環境科学研究センターの協力のもと、家棟川、祇王井川、童子川、中ノ池川で定期的な生態調査を実施します。遡上しているビワマスの生息環境を保全するため、企業や県、関係機関等と連携し産卵床の整備を行います。

ビワマス保全に取り組む団体の活動について報告するとともに、ビワマスの専門家、滋賀県でビワマスと呼び戻す取り組みをさらに広げていくための方策について話し合うビワマスフォーラムの開催を行います。

### ③ 家棟川エコ学習会 継続

市内自治会や老人会などと連携し、市内の河川の多くが流入する家棟川で手漕ぎの小型舟に乗り、豊かな生態系の観察を行う一方、河川の水質や散在性ごみの状況を直接実感する学習会を開催します。

## 里山を守り育てるプロジェクト



実施主体：山部会

### ① 里山・林道の保全作業 継続

毎月、第1第2土曜日、第3水曜日に山作業を行います。

- 小堤生産森林組合のエリア  
城山主郭の草刈りと曲輪の整備、登山道入口の路肩整備と谷川整備、依頼を受けたエリアの杉・桧の間伐を中心に行います。
- 大篠原生産森林組合のエリア  
大山川溪流の整備、旧林道の道整備、倒木処理、貯木場の草刈り、森学校の遊歩道の整備、子どもや市民参加の行事のための道整備などを行います。

### ② 子どもや市民が里山に親しむ活動 継続

市民や子どもたちに地元の山の現状や素晴らしさ、里山の歴史について知ってもらい、里山の大切さについて理解を深めてもらうためのイベントを行います。

- 篠原小学校「伊勢道峠越え」案内
- タムシバ山から城山登山
- 里山自然観察会
- 秋の里山登山
- 城山初日の出登山

### ③ 森づくり塾 継続

里山案内人としての技量や知識を得るため、山部会員や市民が山作業の方法や生き物・山作業・里山の歴史について実習・学習を実施します。

### ④ 野洲の山を知る探索 継続

毎月第4土曜日に、野洲の山の現状や季節ごとに変化する里山の面白さを知る探索を行う。同時に動植物の生息状況も把握します。

また昨年に引き続き、レスキュー杭の点検補修も行います。

### ⑤ 他団体やプロジェクトとの協働活動・交流 継続

コミュニティセンターでの収穫祭に参加し、山部会の活動をPRします。また、自然分野の川プロジェクトと協働で家棟川・琵琶湖の生態調査に参加する他、緑の推進委員会とも協働による森林整備を行います。さらに野洲クリーンセンターと共にクリーンセンター裏の谷においてタゴガエル生息確認調査を行います。

## びわ湖を守ろうプロジェクト



実施主体：びわ湖の水と地域の環境を守る会  
野洲市びわ湖を守る会

### ① びわ湖環境学習とヨシ苗づくり 継続

公益財団法人淡海環境保全財団と連携し、小学4年生を対象にした環境学習で、びわ湖とヨシについて学習会を行います。また、ヨシ苗を育苗するためヨシ苗ポットづくりを行い、学校の中庭にある池で育苗を行います。育てたヨシ苗は湖岸へ移植します。

### ② ヨシ群落再生事業の経過観察 継続

これまで企業によるヨシ植栽の他、各種団体や事業所等と連携し、市民参加型のヨシ植栽イベント等を実施してきたヨシ群落再生事業について、植栽後の経過観察を継続して行します。また、関連団体のイベントと協働し、ヨシの補植や湖岸の景観を保全するための松林保全（下草刈作業）活動等に参加協力します。

### ③ びわ湖環境学習会 継続

#### ▶ 砂浜学習会

船上において川の話や環境の話聞き、刺網や投網で取れた魚の生態調査を行います。また、あやめ浜で湖魚料理を食べながら、びわ湖の今と昔についての話をし、学習機会を作ります。

#### ▶ あやめ浜まつり

あやめ浜でのシジミ採り体験、湖魚料理による食文化体験など、琵琶湖に親しみながら、琵琶湖について学ぶことで、水環境の保全意識の高揚を図る啓発イベントを開催します。

### ④ 漁民の森づくり事業 継続

琵琶湖の水源を守るために、漁業関係者や生産森林組合と協力し、団体・企業などの参加のもと、水源となる山（大篠原地先）の植樹整備を実施します。

### ⑤ 湖岸周辺の清掃活動 継続

あやめ浜周辺の散在性ごみや河川から琵琶湖へ流入した漂着ごみの清掃活動を年間通じて実施します。



## みんなで環境学習プロジェクト

(事務局：環境課)

### ① 学びの場の提供 **継続**

新クリーンセンターを拠点とし、さまざまな講座や交流が図られるよう施設を提供します。

### ② 出前講座や環境学習 **継続**

各プロジェクトでの、それぞれのテーマに沿った出前講座を実施し、子どもから大人まで幅広い市民を対象に、環境学習を進めます。

### ③ 広報やす・インターネット等による情報発信 **継続**

インターネットによる情報発信や、各種環境学習の周知広報を図ります。また必要に応じて小学校や自治会へ周知案内を行います。

## 環境活動支援プロジェクト

実施主体：環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」

(事務局：環境課)



### ① 学びの場の提供 **継続**

野洲クリーンセンターを拠点とし、さまざまな講座や交流が図られるよう、えこっち・やすによる環境活動の場を提供します。

### ② ニュースレターの発行 **継続**

各プロジェクトの活動概要をニュースレターとして、会員配布や自治会回覧、環境保全協定締結事業所等に送付し、周知を図ります。

### ③ 広報やす・インターネットによる情報発信 **継続**

インターネットによる情報発信や、各種活動の周知広報を図ります。各プロジェクト活動のイベント案内を広報やす、市ホームページを通じて月1回以上周知します。

### ④ ロゴマークによる周知 **継続**

活動時にはえこっち・やすロゴマーク入りスタッフベストを着用し、また周知の際には、ロゴマークを配置して認知度を高めます。

### ⑤ 各プロジェクト支援、管理等 **継続**

各プロジェクトの支援や把握、調整を行う事務局として取り組みます。

# 第4号議案

## 令和 4 年度 予算 (案)

(収入)

単位：円

科目	当初予算額	前年度当初予算額	差引き	備 考
会 費	101,500	102,000	△ 500	個人 @ 500 × 71 人 市民団体 @ 1,000 × 16 団体 自治会 @ 1,000 × 20 団体 企業 @ 2,000 × 15 社
補助金	1,546,000	1,715,000	△ 169,000	野洲市 (環境基本計画推進事業補助金)
繰越金	338,060	274,549	63,511	前年度繰越金
雑 入	10	15	△ 5	預金利子
合 計	1,985,570	2,091,564	△ 105,994	

(支出)

単位：円

科目	当初予算額	前年度当初予算額	差引き	備 考
事業費	1,546,000	1,715,000	△ 169,000	まちなかの緑づくりPJ 150,000 円 ごみの資源化PJ 90,000 円 ごみ減量PJ 90,000 円 地球温暖化対策推進PJ 120,000 円 みんなが親しみきれいな川づくりPJ 520,000 円 里山を守り育てるPJ 180,000 円 びわ湖を守ろうPJ 285,000 円 環境活動支援PJ 111,000 円
事務費	150,000	150,000	0	通信運搬費、消耗品 等 150,000 円
予備費	289,570	226,564	63,006	
合 計	1,985,570	2,091,564	△ 105,994	



## 環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」規約

### (名称)

第1条 この会は、環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」(以下「本会」という。)と称する。

### (目的)

第2条 本会は、野洲市環境基本計画(以下「計画」という。)に基づき、市民・事業者・行政が協働して計画の基本理念「里山から琵琶湖へ、豊かな自然とくらしが調和するまち やす」の実現を目指した活動を行うことにより、持続可能な社会を構築することを目的とする。

### (活動)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる活動を行う。

- (1) 計画に定めるプロジェクトの実施に関すること。
- (2) 計画に定めるプロジェクトの成果の評価に関すること。
- (3) 環境に関する情報提供及び普及啓発に関すること。
- (4) その他前条の目的を達成するために必要な活動。

### (会員)

第4条 本会は、第2条の目的に賛同して会員となる市民、市民団体、事業所及び行政機関をもって構成する。

### (入会及び退会)

第5条 本会の会員として入会しようとするものは、入会申込書を代表に提出しなければならない。

2 本会を退会しようとするものは、退会届を代表に提出しなければならない。

### (役員)

第6条 本会に、次に掲げる役員を置く。

- (1) 代表 1名
- (2) 副代表 2名以内
- (3) 運営委員 10名以内
- (4) 会計監事 2名以内

### (役員を選出)

第7条 運営委員は、プロジェクトより推薦された会員を総会で承認する。

2 会計監事は、会員の中から総会において選出する。

3 代表及び副代表は、運営委員の互選により選出する。

### (役員任期)

第8条 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは、補欠役員を置くことができる。この場合における役員任期は、前任者の残任期間とする。

### (役員職務)

第9条 代表は、本会を代表し、会務を総理する。

2 副代表は代表を補佐し、代表に事故あるとき、又は代表が欠けたときは、その職務を代

理する。

3 会計監事は、本会の経理について監査する。

4 運営委員は、運営委員会を構成する。

(顧問)

第10条 本会に顧問を置くことができる。

(会議)

第11条 本会の会議は、総会、運営委員会及びプロジェクト会議とする。

(総会)

第12条 総会は、通常総会及び臨時総会とする。

2 通常総会は年1回開催とし、臨時総会は必要に応じて開催する。

3 総会は、代表が招集し、議長は総会出席会員より選出する。

4 総会は、本会の決議機関とし、次の事項を行う。

(1) 規約の改正に関すること。

(2) 役員を選出に関すること。

(3) 事業計画及び予算に関すること。

(4) 事業報告及び決算に関すること。

(5) その他重要な事項

5 総会の議事は、出席者の過半数の同意をもって決する。

(代表の専決事項)

第13条 代表は、総会において当該年度の予算が決定する前に、事務又は事業の性質上必要があると認めるときには、前条第4項第3号の規定にかかわらず、運営委員会の決定に基づき、予算を執行できるものとする。この場合において代表は、次の総会において執行状況を報告するものとする。

(運営委員会)

第14条 本会の方針に基づき、必要な事業を推進するため、総会の下に運営委員会を置く。

2 運営委員会は、必要に応じて代表が招集し、議長となる。

3 運営委員会は、次の事項を行う。

(1) 予算の執行及び管理に関すること。

(2) 本会の全体事業の企画及び運営に関すること。

(3) プロジェクト間の調整に関すること。

(4) プロジェクトの進行状況の把握に関すること。

(5) その他、本会の事業の推進に関すること。

4 運営委員会の議事は、出席者の過半数の同意をもって決する。

(プロジェクト代表)

第15条 第3条に定める活動を実施するため、計画のプロジェクトに対応した代表（以下「プロジェクト代表」という。）を設置することができる。

2 プロジェクト代表は、プロジェクトの活動を把握するとともに、その進捗状況を運営委員会に報告する。

(会費)

第16条 会員は次に定める年会費を納入するものとする。

(1) 市民（個人会員） 1口／年500円

(2) 市民団体（団体会員） 1口／年1,000円

(3) 事業所（事業所会員） 1口／年2,000円

(経費)

第17条 本会の経費は、会費、寄付金、補助金、交付金及びその他の収入をもって充てる。  
2 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事務局)

第18条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。  
2 事務局は、当分の間、野洲市環境経済部環境課内に置く。

(その他)

第19条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、代表が運営委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この規約は、平成20年(2008年)3月23日から施行する。

(経過措置)

2 発足時の役員には、本会の設立発起人をもって充てる。

附 則

この規約は、平成29年(2017年)4月21日から施行する。

役 職	氏 名
代 表	飯田 百合子
副 代 表	政本 幸三
副 代 表	益川 教智
運 営 委 員	熊本 正幸
運 営 委 員	林 かすみ
運 営 委 員	増村 和美
運 営 委 員	井上 輝子
運 営 委 員	北出 肇
運 営 委 員	松沢 松治
会 計 監 事	河本 正信
会 計 監 事	山田 セツ子

(令和5年(2023年)3月31日までの役員)